

阪神南出会いサポートセンターより

～はばタン会員募集中!!～

「ひょうご出会いサポートセンター」では、独身男女の方に出会いの場を提供しております。

1対1のお見合いができる「はばタン会員」になっていただくと、スマートフォンを使用して、ご自宅で24時間いつでもお見合い相手の閲覧や、お見合いのお申し込みができます。

また、お見合いは、出会い系サポートセンターでの対面やSkypeを使用したオンライン、ご協力いただいているホテルやカフェなど「お見合いスポット」でもしていただくことができます。

交際へ進む前には、90日間の「お友だち期間」を設けておりますので、しっかりとお相手を見極めて頂けます。

「はばタン会員」は、1年間の登録手数料として、20代の方は3000円、30代以上の方は5000円頂いておりますが、それ以外は一切かかりません。

センター職員一同、少しでも皆さまのお力になれるようお待ちしております。是非お知り合いの方にもご紹介ください！



〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-6
尼崎市中小企業センター 6階
TEL: 06-6481-7370 FAX: 06-6481-7401
受付時間 火・金・土・日 9:00~17:15
駐車場 有り(有料)



ひょうご出会い
サポートセンター

子どもの冒険ひろば～国有地プレーパーク～

にしのみや遊び場つくろう会が「子どもが自分自身でのびのびと遊ぶことを見守る遊び場」として運営しています。大人が見守るなか、子どもたちはターザンロープ、木登り、どろんこ遊び、水遊びなど思いのままに遊ぶことができる、子どもにも大人にも楽しい居場所として地域に定着している遊び場です。

【開催曜日】

毎週水曜日 11時～17時

毎週土曜日 11時～17時

*緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出たときは時間帯が変更になる日もあります。

【場 所】

西宮市久保町1-20

*「子どもの冒険ひろば」とは、地域住民が運営する野外の自由な遊び場です。



楽しいロープのブランコ



親子で楽しめる緑いっぱいの遊び場

阪神南青少年本部賛助会員ご入会のお願い～青少年健全育成のためにご協力を～

阪神南青少年本部が実施している自主事業は、皆さまからの温かいご支援(賛助金)によって行われています。

阪神南地域の青少年健全育成のために是非「賛助会員」にご入会ください。

<賛助会費>

個人会員 … 年間 1口 2,000円
団体会員 … 年間 1口 10,000円

賛助会員カードを提示すると県内的一部施設の入館料・入園等の割引を受けることができます。

兵庫県立美術館 / 神戸市立博物館 / 兵庫陶芸美術館
兵庫県立淡路夢舞台温室 <奇跡の星の博物館>
兵庫県立フラワーセンター など

ほかにもたくさんあります。

※ご入会手続き・お問い合わせ先
阪神南青少年本部 06-6481-4634

阪神南青少年本部

なかま通信 Vol.39



〒660-8588 尼崎市東難波町5-21-8
(阪神南県民センター 県民交流室 県民・産業振興課内)
TEL: 06-6481-4634 FAX: 06-6482-0579

阪神南青少年本部
ホームページQRコード



「気持ちと基礎」を大切に

阪神南青少年本部長 阪本茂樹



木枯らしが吹きすさび、日だまりが恋しいころとなりました。

皆様方におかれましては、お健やかにお過ごしのことと思います。

世界中を新型コロナウイルスが席捲し、人々が苦しんだ2021年は異常な年だったように思います。

そんななかで、オリンピック、パラリンピックが開催されましたが、さすがにスポーツ好きの私でも、これまでのように楽しむことは出来ませんでした。

その後、歴代最多の45回の優勝や幕内勝ち星1093勝など数々の角界の記録を塗り替えた横綱白鵬が9月の秋場所後に引退をしました。

土俵の上では、鬼になって勝ちにいくことこそが横綱相撲だと考えていたようですが、稽古場では工夫し、基礎を目いっぱいやっていたとのことです。しこ、すり足で下半身を鍛え、地道にたっぷりと汗をかく。ただやるだけではな

く、準備運動から「これで自分は強くなるんだ」という気持ちが入っていたといいます。

ぶつかり稽古のときも、普通の関取は右だけですが、右も左も使えるように体に覚え込ませるため、左右の胸を出していました。

常に、強くなりたいという「気持ち」と「基礎」の大切さをもって稽古していたということです。

次代を担う子どもたち、若者たちには努力する大事さを身につけて、夢・目標に向かって力強く挑戦してほしいものです。

最後になりましたが、新しい年が皆様方にとっていい年になりますように。



令和3年度 阪神南青少年本部会議・常任委員会

令和3年7月7日(水)
尼崎市中小企業センター 1階ホール



事業報告

青少年文化・スポーツ体験事業

親子演劇鑑賞体験

令和3年8月7日(土)
兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)
親子でピッコロ劇団ファミリー劇場「グリム兄弟!~みんなのメルヘン きかせてダンケ~」を鑑賞しました。大人も子どもも楽しめる、そんなメルヘンの世界に泣いたり笑ったり。上演終了後は、演出家からバックステージの解説もあり、親子で楽しい時間を過ごしました。

(参加人数: 親子48組)



グリム兄弟とものがたりの登場人物たち



バックステージの解説

共催事業

小学生スナッグゴルフ大会

令和3年8月16日(月)
西宮カントリー倶楽部

ゴルフを通じて、マナーや思いやりの心を育んでほしいと一般社団法人西宮市ゴルフ協会主催で「小学生スナッグゴルフ大会」を開催しました。連日の雨続きで開催できるか心配されましたが、当日は小雨ながらも実施することができました。参加した子どもたちは、芝生のコースでのプレーを楽しみ、笑顔あふれる大会となりました。(小学生参加人数: 124名)



ご挨拶

こころ豊かな人づくり500人委員会 阪神南OB会 会長 添田 ひろみ

「我慢と辛抱」

「我慢」は、人間は我が強いから我慢がしにくく、ネガティブな言葉で、「辛抱」は、辛さをぎゅっと抱きしめることが出来るポジティブな言葉と教えてもらいました。コロナ禍の今、子どもたちは長い間「辛抱」させられてきました。「我慢」でなく「辛抱」出来る大人が増えれば、辛い中でも笑顔が増えて、子どもたちにも良い影響を与えると思います。たくさんの笑顔の子どもたちと触れ合える日を楽しみに、少しづつ活動を始めています。



第43回少年の主張兵庫県大会 「中学生のメッセージ2021」

令和3年9月25日(土)
兵庫県民会館 けんみんホール

中学生が日常生活の中での心からの思いや考え、感銘を受けたことを自分自身の言葉でまとめ、広く発表する「中学生のメッセージ2021」が行われました。

阪神南地域からは、西宮市立上ヶ原中学校2年の具宥聖(クソン)さんが出場し、「違うからこそ」と題し、自らの経験から「互いの違いを認め合うことが大切」と力強く訴え、最優秀の県知事賞を受賞しました。



「違うからこそ」

兵庫県西宮市立上ヶ原中学校2年 具 寸 聖

僕は、日本と韓国のダブルです。ちなみにハーフというとあまり良くない意味になるので、僕はダブルと言っています。

僕の名字は一文字で「具」と言います。小学校に入学して、低学年の頃はあまり気にしていなかったけれど、だんだん学年が上がるにつれて、自分の名字を気にするようになりました。初めて会う先生や友達に自分の名字を間違えられたり、ときにはバカにされたりして、傷ついたことがあります。

人前で名前を言うことに抵抗があり、そのせいで学校では、委員や何かの代表にも立候補できずにいました。その反面、こんなことで悩んでいる自分がみっともなく、小さく見えて、それもいやでした。

でも、そんな時に他愛もない話をして僕を笑わてくれたのは、小学校の友達でした。「僕のことゆそんって呼んで。」と言ったら、「ゆそん、ゆそん。」と、名前をバカにせず呼んでくれたのが、すごく心の支えになっていました。

中学校に入学して、コロナウイルスの影響もあってクラス全員がそろうまで三ヶ月近くかかりました。僕の学校は六つの小学校から集まっているので、自己紹介は避けられません。しかし、分散登校で自己紹介がなく、ホッとしている自分がいました。正直、そんな自分がいやでした。

クラスが本格的に始まって、僕は班長に推薦されました。「何か小さいことでもいいから挑戦してみたい。」と思っていた僕ですが名前のことがあつて目立つはどうしてもいやでした。そんなとき、小学校からの友達が僕のことを「ゆそん」と呼んでくれて、自然にクラスのみんなも「ゆそん」と呼んでくれるようになりました。僕は自分の名前を普通に呼んでもらえることが、人一倍うれしいです。クラスには誰一人バカにするひともいなくて、とってもいいクラスだなと思いました。おかげで班長としてやっていくことができました。今は、一年生の時挑

戦できなかった委員会に入って活躍したいと思っています。

僕のような日本と韓国のダブルの人は、この国にいっぱいいます。日本が差別のない多文化共生の社会を目指しているのは、とてもすばらしいことです。僕が日本に生まれてよかったと感じるのもそのことが大きく影響しています。ただ、完全に差別がないとは言い切れないのも事実です。他の国でも、黒人やアジア人への差別が後を絶ちません。

自分と「違う」ということには敏感になります。「違う」を感じて、言葉にはしなくても避けたり、見て見ぬふりをしたりしてしまいます。ときにはその「違う」をおそれるあまり、攻撃的になり、必要以上に相手を傷つけてしまうこともあります。僕は、人と違うことをバカにされて、笑われることのつらさを知っています。だから絶対に「違う」を笑うようなことはしません。

「名前がみんなとは違う」このことが僕を殻に閉じ込め、自由に動き出したい気持ちにいつもブレーキをかけていました。人との「違う」に敏感で、それを気にしてばかりの自分が好きになれませんでした。そんな僕を広い世界に引っ張り出してくれたのは、「違う」を認めて、気にせず接してくれた友達です。

誰一人同じ顔がないように、人はみな違っています。それでいいのだと思えるようになってから、僕の世界は大きく広がりました。「違う」を認めることで、自分の良さにも気づけました。そして、そう思ってくれた友達を大事にしたいとも思いました。「違っていいんやで。違うからこそおもしろいんやで。自分の良さに気づいて、相手のいいところを見つけてや。」

僕は、この経験から得たことを絶対に活かします。そして、「違う」の壁を乗り越え、ダブルの自分に誇りをもちます。そして周りの人も、自分自身も大切にすること、心のやさしい人に絶対になります。